

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：老人福祉費

事業名 高齢者福祉施設内感染対策指導事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 高齢福祉課 事業者指導係 電話番号：058-272-1111 (内 2600)

E-mail：c11215@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,311 千円 (前年度予算額：2,311 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県債	一 般 財 源
前年度	2,311	0	0	0	0	0	0	0	2,311
要求額	2,311	0	0	0	0	0	0	0	2,311
決定額	2,311	2,311	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

高齢者が入所する施設については、施設内感染が発生した場合に重症化しやすい利用者が多い一方で、サービス提供の制限・中止は利用者及び家族の生活に与える影響が大きく、緊急事態宣言下においても面会の原則禁止等の制限のうえサービス提供の継続を要請してきた。医療スタッフが常駐していない施設もある中、各施設における感染予防対策や感染発生時の対応策の強化・促進を図る必要がある。

(2) 事業内容

①入所施設への事前準備支援

- ・県内5圏域の各2施設に対し、感染管理の専門家を派遣し、ゾーニングの方法等に関する助言・指導を行う。

②入所施設への感染防止対策研修

- ・感染症専門家による入所施設等を対象とした研修会を開催し、各施設等対応策の強化を図る。
- ・また上記研修会は、感染防止のため定員数限定での実施とする必要があることから、当該研修内容を幅広く各施設等で活用するため、研修内容を動

画撮影し配信を行う。

③感染発生時の感染管理支援

- ・施設において感染が発生した際、感染管理の専門家を派遣し、ゾーニングなど感染管理に関する助言・指導を行う。

④入所施設新型コロナウイルス感染症対策検討会議の開催

- ・感染症対策専門家と福祉施設関係者等による検討会議を開催し、感染防止対策の強化・促進に向けた対策の検討を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	1,289	研修講師、派遣指導、検討会議出席者謝金
旅費	309	講師等費用弁償
需用費	24	消耗品費、会議費
使用料及び賃借料	115	研修会場、会議室
役務費	14	郵送代
委託料	560	動画撮影・配信委託料
合計	2,311	

決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

新型コロナウイルス感染症総合対策～「新たな日常」対策～

Ⅱ 感染防止・医療 1 感染防止対策の推進

(2) 福祉施設等の感染防止対策支援

(2) 事業主体及びその妥当性

県内高齢者福祉施設の感染管理、感染予防対策の指導等については県が主体となり統一的に行うことが妥当。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

高齢者福祉施設等に対して感染症や医療の専門家を派遣し、各施設における感染症防止対策の助言、指導を行うことで、感染拡大防止の徹底を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2 年度 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
①						%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

感染症対策として実施する事業であり、指標の設定には馴染まない。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	
令和 3 年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和 4 年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価)	<p>3 高齢福祉サービスは利用者やその家族の生活を継続する上で欠かせないものであり、施設の感染症対策の一層の強化を図ることが必要。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルス感染症の拡大・まん延状況に応じて、さらなる感染拡大防止策が必要となる。</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 新型コロナウイルス感染症の拡大・まん延状況を見極め、施設等での防疫体制の一層強化が求められる場合は、さらなる対応が必要となる。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	<p>【〇〇課】</p>
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	